



福岡市佐賀県人会会報



町を代表する祭り米多浮立 上峰町

目 次

表紙 上峰町 町を代表する祭り米多浮立	
平成16年 新春懇親会	2～3
ふるさとの首長・ふるさと紹介 上峰町大川紀男町長	4
私の履歴書 井上あき子さん	5
郷土の歳時記 (16.3～16.12)	6～7
このごろ私は 大原弥寿男さん・下川勝廣さん・古賀哲夫さん 高木靖哉さん・原田利一郎さん	8～9
佐賀県だより 佐賀新聞社提供	10～11
最近の入会者名簿・見島のカセドリ・編集だより	12

48

2004.2



福岡市交通局
鶴 昭彦理事



佐賀県
川上義幸副知事

を申し上げます。どうかごゆ
つくりとご歓談戴くようお願い
申し上げます。新年のご挨拶
とさせていただきます。

続いて、今年もたくさん
の来賓のご出席を戴き、衆議
院からは、保利耕輔（代理）
氏、県議会からは田中久也、
武藤英治、原竹岩海、堀宏行
の四氏、又市議会からは川上
晋平、森山英樹、小島久弥の
三氏にお出で頂きました。

さらに大宰府市議の岡部茂
夫氏や福岡市からは市長代理
として交通局理事の鶴昭彦氏
にご来賓戴きました。

また、ふるさと佐賀県から
は、副知事の川上義幸氏、鳥
栖市からは吉山助役、伊万里
からは前田助役が参加され、
それぞれを代表してご挨拶を
戴きました。

今回、特に会場参加の皆様
の創意で、当会顧問の山崎拓
氏にご挨拶をして戴きました。

この後、祝電の披露があり
いよいよ、乾杯の瞬間を待つ
ばかりとなり、司会清村理
事に交代です。

★乾杯です★

さて、二〇〇四年中年の景
気回復を願って、井浦副会長
の音頭で乾杯となりました。
後は恒例の福引き大会で最高
の盛り上がりとなり、賞品が
当たる度に、一喜一憂ため息
が出ていました。

（文・貴 水間）



乾杯の音頭をとる
井浦 副会長



県人会顧問
山崎 拓氏



福岡県議
田中 久也氏

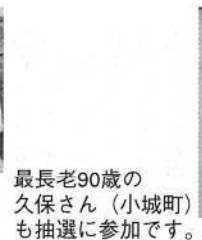
懇親会風景のスナップです。



今年も大勢の会員が参加しました。半年ぶりの再会に、アチコチで話が盛り上がっていたようです。



最後は、恒例の「栄えの国から」を皆で大合唱です。



最長老90歳の
久保さん（小城町）
も抽選に参加です。



福引賞品ご提供先
（順不同・敬称略）
唐津シーサイドホテル・佐
賀銀行・博多座・村岡総本
舗・平和楼・宗政酒造・佐
賀情報センター・理研農産
化工・小島郁子・アカプル
コ・大原老舗・千鳥屋・無
津呂商店・太田製菓・鶴亀
漢方本店・相知町役場・井
上あき子



それでは、6月の総会で又お会いしましょう。お元気で!!



福岡市佐賀県人会新春懇親会

平成16年 1月16日(金)

平和楼 本店



金子会長
年頭の挨拶

昨年のイラク派遣問題や総
選挙の余韻を引きずりながら、
オリンピックイヤーの二〇〇
四年が明けました。

皆さん、明けましておめで
とございます。本年も県人
会を宜しくお願い致します。

さて、今年も一月十六日の
小雨降る金曜日、福岡市天神
の平和楼本店で恒例の「福岡
市佐賀県人会新春の集い」が
開催されました。

で、三年後はきつと良くなる
だろう」とある評論家の言葉
を引用して、開会の宣言をさ
れました。

続いて、金子会長から次の
ような年頭のご挨拶がありま
した。「皆さん、あけまして
おめでとございます。新春
の始めからこのように多数お
集まり戴きましてありがとうございます。
希望を持って迎えた訳でござ



辻 副会長
開会の挨拶

又、六月の総会にも大勢の皆
様に出席戴いておりますが、
この機会に大いに懇親を深め
て戴きたいと思う次第でござ
います。

今年はこのような年になる
か、辻副会長からもお話があ
りましたけれども、新聞など
見てみますと、わりに明るい
話が多く、特にスポーツ界で
は色々な選手は輩出しており
まして、特に今年はアテネオ

謹賀新年									
会 長	金子 宜嗣	副 会 長	辻 長英	代 表 理 事	山下 廣人	常 任 理 事	田中 秀男	田中 勇吉	井上 浩輔
監 事	久保 悦次	古賀 利治	永田 健生	嘉村 博	井上 説蔵	清水 克行	落合 繁俊	澤村 利次	井上 浩輔

唐津高等女学校を卒業、教師をめざし東京の大学に進みましたが家庭の都合でやめ、教師がだめなら、手に職をと願ひ、新進人形師 長二郎と結婚しました。しかし夫はすぐ招集され、形見の人形一作を残して戦場へ駆り出された。その人形を店先に飾り夫の帰りをまつていた。そんなある日、海軍特攻隊員に「この人形自分のお嫁さんとして一緒に戦場につれていきたい」と懇願され一度断ったものの、悲願をかなえてあげようと、駅まで走り手渡しました。今まで人形は子供の夢ばかり思っていました、大人

「この道」

国指定越技能保持者
福岡県重要無形文化財保持者
全国伝統女性芸士顧問

井上 あき子

の夢でもあると、その時考へ、自分の人形を作ろうと決心したのでです。



出兵中の内助の功から自分の表現にと、スタートした、エピソードです。
「夫あつての井上」と思わ

人の一生は再び返って来ないドラマです。上手下手と関りなく片道切符の旅です。苦しさや悩みがあつても過ぎ去つてしまえば甘い世つない思い出です。その片道切符の時間を大切に、心の奥に生れる夢をおいつづけこの道一筋努力の道です。

入会の勧め

県人会では毎年恒例の行事として、年度総会および懇親会を催し、会員の親睦交流を図っています。また会員には年二回発行の「会報むつごろ」をお届けします。未加入県出身者に入会を勧めて下さい。入会あるいは紹介の問い合わせは、県人会事務局へどうぞ

福岡行き高速バス 好評運行中！

『からつ号』

最速58分(26往復)

唐津 ⇄ 天神・博多

昭和自動車株式会社
http://www.showa-bus.jp



『いまり号』

最速83分(8往復)

伊万里 ⇄ 天神・博多

大手口バスセンター 0955-73-7511
唐津営業所 0955-74-1121

私の履歴書

ふるさとと首長



上峰町
大川紀男町長

「豊かな自然、人と文化の息づくまち上峰」

若々しい発展を続けるわたしたちのまち上峰町は、鎮西山の豊かな緑と田園に囲まれ「豊かな自然、人と文化の息づくまち・上峰」をキャッチフレーズに、誰もが「生まれてよかった」「住んでよかった」と感じるまちづくりを築いてまいります。

本町は、明治22年の町村制施行によりまして、当時の4つの村が合併し、上峰村が誕生いたしました。その後、村政100周年の記念すべき年(平成元年11月)に、新庁舎建設と共に町政を施行し、現在15年目の年を迎えております。

農業生産を主体としたものから、工場の誘致、住宅政策の振興を図り、農工併進の街づくりを積極的に推進してきた中で、平成7年に国道34号

線と県道北茂安・三田川線が交わる坊所地区に、郊外型ショッピングセンター「上峰サティ」、複合映画館「ワーナーマイカル・シネマズ上峰」がオープン以来、町は静かな農村から「人の集まる町」へと大きく変貌をとげました。

21世紀の高齢者社会を迎えて、地域住民が健康で安心して生きるためには、若いころからの健康づくりはもちろん、複雑・煩雑化した社会の中で、心身ともに適す場所の提供が求められる昨今であります。

わが町では、町勢の発展のための施策として、農業集落排水事業(下水道の整備)の完成、通学福祉バスの町内運行、福祉センター(おたつしや館)の開館、上峰町中央公園の建設等に努めてまいり、おかげさまで、住みやすい住

環境整備により昨年9千人を突破し、目標でもある1万人は近い将来には達成する状況であります。

また、平成5年に圃場整備事業中に、八藤遺跡から発見された9万年前の「太古木」(9万年前に九州一円を襲った阿蘇4火砕流でなぎ倒された埋没林と地層について、学術的あるいは当時の気象、生態系を解明する「年輪年代学の貴重な資料」として、専門家の評価も高く、今年早々に国の天然記念物指定を受けて整備保存を行っていく計画です。更に、ここ数年国際交流の一環として、大韓民国驪州郡との友好関係を進めておりまして、昨年の上峰中学校生徒の訪問につき、今年1月末から2月にかけて大神(ティシン)中学校、高等学校学生一行34名が上峰町を訪れ、2泊のホームステイと共に、町内さまさまの交流会で、「ふれあい」を深めることができました。

これからも、上峰町の良さや上峰らしさを大切に、町内はもとより将来を見据えた未来志向の活気ある街づくりをすすめていきたいと思っております。

ふるさと紹介

上峰町

上峰町は、佐賀県東部で佐賀平野のほぼ中央に位置し、南北約12キロメートル東西約3キロメートルと、南北に細長い町です。町北部の鎮西山からは佐賀平野や有明海、雲仙までも一望することができ、鎮西山とその周辺は整備が進み、四季折々の自然に恵まれ、町内外からここを訪れる人々も多く、町民の憩いの森となっています。

町の中央を国道34号線が横断し、ここから福岡県久留米市へも県道が通じるという恵まれた交通環境に位置しています。町では、昭和40年代後半から各種工場・企業の誘致を進め、一方で農業基盤整備事業に取り組み、農工



八藤遺跡から発見された9万年前の「太古木」

併進の町づくりを行ってきました。加えて、佐賀市や鳥栖市、久留米市へも10キロメートル前後と最適な通勤圏にあるところから、人口も着実に伸び年々宅地開発をはじめとする各種開発が増加傾向にあります。とくに、近年の長崎自動車道の開通、大型店舗の進出によって、この傾向に一層の拍車がかかり、長い間純農村として、郷土の人々が築き上げてきた伝統的な農村風景は大きく変貌しつつあります。また、秋を彩る風物詩のなかに約350年の伝統をもつ米多浮立があります。「てんつき」と呼ばれる冠物をいた

だき勇壮に舞う浮立です。秋の豊稔を感謝する祭りとして、二年に一度、十月二十五日に近い土曜日の二日間にわたり、老松神社、若宮神社に奉納されておき、奉納には地区の人々や県内外から大勢の見学者が集まり賑わいを見せています。

8月 葉月

13～14日 虎まわし (伊万里市大川町)
13～15日 みたま祭 (佐賀市護国神社)
13～16日 盆・盆市 (伊万里市・県内各地)
14日 もとこ踊り (伊万里市大川町)
14日 納涼まつり<盆踊り・花火大会> (大町町)
第2土曜日 風まつり (中野町)
第2土曜日 全日本うちわ選手権大会 (中野町)
15日 精霊流し (佐賀市・久保田町・芦刈町・大町町・江北町)
15日 背振村わんぱくまつり (背振村)
15日 海中綱引き (鎮西町渡戸港)
15～16日 多久山笠 (多久市)
16日 えんま祭 (唐津市浄栄寺)
16日 内田川大盆綱引き (牛津町)
16日 むらさきの夏まつり (七山村)
16日 納涼まつり (厳木町)
16日 盆踊り大会 (北野町)
16日 福岡市盆踊り (福岡市)
16日 塩田町夏まつり (塩田町)
18日 十八夜祭 (西有田町大木宿)
中旬 きたしげやす夏まつり (北茂安町)
中旬 梧竹まつり (小城市)
中旬 国際溪流滝登りinななやま (七山村)
中旬～9月下旬 観光農園 (伊万里市)
第4日曜日 お不動さんまつり・夏まつり (江北町大聖寺)
24日 宿の地蔵まつり (伊万里市大川町)
25日 下石動天満宮奉納神楽 (東脊振村)
25日 子供供立大会・潮産親善祭 (福岡市)
31日 二百十日祈願 (鹿島市内)
下旬 佐賀のへそ・ビッキー ふれあい祭in江北 (江北町)

9月 長月

1日 田ほめ (鳥栖市)
1日 愛宕神社風まつり (牛津町)
上旬 第10回全国棚田 (千枚田) サミット (相知町)
上旬 かけ参り (有田町)
第2日曜日 母ヶ浦の面浮立 (鹿島市)
第2日曜日 音成の面浮立 (鹿島市)
第2日曜日 太良神社秋祭 (太良町)
12日に近い日曜日 江見神社 (三根町)
15日 放生会 (北茂安町千栗八幡宮)
15日 行列浮立 (北茂安町)
15日 星嶺子供浮立 (厳木町)
15・23日 広瀬浮立 (厳木町天山神社)
19日 天山祈念神祭 (多久市・富士町・小城市・厳木町・相知町)
19日 八幡神社彼岸燈夜 (牛津町)
中旬 唐津焼展 (唐津市)
中旬 産業祭 (諸富町)
中旬 古湯映画祭 (宮土町)
中旬 彼岸花見頃 (小城市江里山)
中旬 志島川ロマンと秋の恵み (浜玉町)
中旬 下旬 名月バンコまつり (武雄市)
中旬～10月下旬 SARIコスモス遊園 (相知町)
21日 白木孔子像祭 (江北町)
22日 泥もちつき (太良町)
23日 志賀神社秋祭 (川副町)
23日 天川浮立 (厳木町)
23日 鳥越浮立 (厳木町)
23日 行列浮立 (中野町)
23日を前後に5日間 白石焼陶器まつり (北茂安町白石神社周辺)
秋分の日 高瀬・宇土・中野の荒瀬り (武雄市)
秋分の日 袴野の面浮立 (武雄市)
秋分の日 御神楽祭 (基山町祐徳神社)
秋分の日 山内浮立 (山内町)
24日 旗おろし神事奉納相撲大会 (中野町)
27～29日 大町ソウキ市 (大町町本町)
下旬 新所住古神社御神幸祭 (肥前町)

10月 神無月

1日 八朔祭 (有明町海童神社)
第1日曜日 背振村溪流まつり (背振村)
旧暦8月25日 鳥巢天衡舞浮立 (浜玉町)
旧暦8月25日 大屋敷浮立 (七山村)
第2日曜日 府前浮立 (伊万里市南波多町)
9～10日 中島神社秋祭 (厳木町)
第2日曜日 府前浮立 (伊万里市南波多町)
10～12日 日傘さん (佐賀市松原神社)
上旬 虹の松原サチ&ウォーキング (唐津市)
上旬 松枝神社秋祭 (川副町)
上旬 産業まつり (七山村)
上旬 入野神社御神幸祭 (肥前町)
上旬 姫野温泉湯どうふフェスタ (姫野町)
12日 高志狂言 (千代田町高志)
12～14日 五の宮神社秋祭 (鹿島市)
16日 有田くんち (有田町)
第3土・日曜日とその前日 相知くんち (相知町)
17日 八幡神社の御神幸祭 (玄海町)
17日 有田山まつり (有田町)
15日に近い日曜日 村田浮立 (鳥栖市村田町村田八幡宮)
20日に近い日曜日 阿阿屋神社の御田舞 (鳥栖市蔵上町老松神社)
20日に近い日曜日 宇佐の宮浮立・西の宮浮立・矢保の宮浮立 (三根町内)
第3日曜日 市民健康福祉まつり (鳥栖市)
第3日曜日 孔子祭 (多久聖廟秋祭) (多久市)
第3日曜日 海童神社秋祭 (川副町)
第3日曜日 香椎神社秋祭 (久保田町)
18～19日 白鰐神社の田祭 (佐賀市)
19日 八幡神社秋祭 (玄海町)
19日 値賀神社秋祭 (玄海町)
19日 くらん (江北町・武雄市瀬見神社・有明町稲佐神社・芦刈町・宮土町・相模町相模神社・白石町泰山神社・六角神社・大町町八幡神社・江北町)
中旬 金立公園コスモス祭 (佐賀市)
中旬 新北神社秋祭・三重獅子舞 (諸富町)
中旬 平野浮立・池上浮立・櫛田浮立・大願寺浮立 (大和町)
中旬 市川の天衡舞浮立 (富士町調訪神社秋祭)
中旬 コスモスまつり (神崎町)
中旬 くらん (小城市天山神社)
中旬 クロスカントリー大会 (浜玉町)
中旬 星賀八幡神社御神幸祭 (肥前町)
中旬 豊公祭 (鎮西町広沢寺)
22～23日 武雄温泉秋まつり・流籠馬 (武雄市武雄神社)
22～24日 伊万里トナントン祭 (伊万里市)
25日に近い土・日曜日 米多浮立 (上峰町老松神社)

10月 神無月

24日 三島神社くんち (玄海町)
第4日曜日 藤木獅子舞 (鳥栖市藤木町宝満神社)
第4日曜日 ムツゴロウロードレース大会 (芦刈町)
29日 くらん (流籠馬・山内町黒髪神社)
30日～11月5日 菊花展 (川副町)
31日 棚田とつこ積みフェスティバルin西有田 (西有田町)
31日～11月5日 鍋島藩祭秋まつり (伊万里市)
下旬 緑の増進計画「実のなる木」植樹祭 (佐賀市)
下旬 多久まつり (多久市)
下旬 富士町ふれあい祭り (富士町)
下旬 三瀬「ざっといかんぱい」林道マラソン大会 (三瀬村)
下旬 田舎と都市のふれあい祭 (三瀬村)
下旬 グラウンドゴルフ大会in巨石パーク (大和町)
下旬 相知町民まつり (相知町)
下旬 相模郡屋まつり (鳥栖市)
下旬～11月上旬 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ (佐賀市)
下旬～11月上旬 生涯学習フェア (西有田町)
下旬 1月中旬 サガ・ライトファンタジー (佐賀市)

11月 霜月

1日 華南神社秋まつり (姫野町)
1～2日 三獄神社秋まつり (鹿島市)
1～3日 お茶と温泉祭り (姫野町)
1～3日 基山町文化祭 (基山町)
1～3日 辰まつり (姫野町)
1～3日 第21回太田さん供養 有田のちやわん祭り (有田町)
1～3日 多福神社秋祭 (鹿島市)
2～3日 丹生神社くんち (塩田町)
2～4日 唐津くんち (唐津市)
3日 くらん (佐賀市堀江神社・塩田町八幡宮・志田神社・味島神社)
3日 探燈大渡奉供 (背振村背振神社)
3日 東脊振村ふる里まつり・文化祭 (東脊振村)
3日 ふるさとまつり (小城市)
3日 三日月町ふるさとふれあい祭 (三日月町)
初旬 神崎町民音楽祭 (神崎町)
3日前後の一週間 鳥栖市文化祭 (鳥栖市)
第1土・日曜日 ふるさと文化祭 (北茂安町)
第1日曜日 佐賀県グランドゴルフ選手権大会 (鹿島市)
第1日曜日 千代田町ふな釣り大会 (千代田町)
上旬 岸川節全国大会 (多久市)
上旬 シチメンソウ紅葉見頃 (東脊振海岸)
上旬 シチメンソウまつり (東脊振町)
上旬 神崎町民文化祭 (神崎町)
上旬 文化健康福祉まつり (千代田町)
上旬 牛津町産業まつり西の浪花の復活祭 (牛津町)
上旬 三根町浮立の里祭り (三根町)
上旬 上峰町ふるさとふれあい祭り (上峰町)
上旬 住吉神社祭 (厳木町)
上旬 みんなで走ろうマラソン大会 (厳木町)
上旬 唐津焼祭の地「岸島炎まつり」 (北波多村)
上旬 北波多ふれあいフェスタ (北波多村)
上旬 陶師有田ロードレース大会 (有田町)
上旬 べんじやらまつり (有田町)
上旬 第13回べったんこ祭・有田町文化祭 (有田町)
上旬 たらふるさと祭 (太良町)
13日 風のふるさとスケッチ大会 (厳木町)
第2土曜日 笑ノ子綱引き (鎮西町)
13～14日 風のふるさとまつり (厳木町)
第2土・日曜日 北方町産業まつり (北方町)
第2土・日曜日 鹿島町産業文化祭 (鹿島町)
14日 風のふるさと祭in玄海 (厳木町)
第2日曜日 川副町フナ釣り大会 (川副町)
15日 お日持ち (鹿島市・藤津郡・杵島郡有明町)
15～23日 九年度一般公開 (神崎町)
15日以後に近い日曜日 石場奉納相撲 (有田町)
第3土・日曜日 子どもまつり (神崎町)
第3日曜日 東脊振町千河ロードレース大会 (東脊振町)
20～21日 大町・長崎街道かきこき競争 (大町町)
20日前後 国際交流姉妹むき大会 (大和町)
中旬 長崎街道まつり (鳥栖市)
中旬 森崎の里文化フェスティバル (背振村)
中旬 山内町産業まつり 鎮守の祭 (山内町)
中旬 玄海町産業文化祭 (玄海町)
中旬 呼子町文化祭 (呼子町)
中旬 志田焼の里博物館秋の陶芸まつり (塩田町)
中旬 鎮西町産業祭 (鎮西町)
中旬～下旬 大興善寺みこみ見頃 (基山町)
22日 にげもち (西有田町下木村)
23日 若木町湖水まつり (武雄市)
23日 久池浮立 (大和町)
23日 吉野ヶ里炭祭り (三日月町)
下旬 民陶大まつり (武雄市黒木田)
下旬 走ろう歩こう大会 (呼子町)
下旬 鎮西町健康・文化祭 (鎮西町)
下旬～12月上旬 湯のまち武雄の物産まつり (武雄市)
30日 おど夜 (東脊振村坂本地区)
未定 中原町きてみん祭 (中原町)

12月 師走

1日 山ノ寺まつり (伊万里市)
初旬の日前夜 取り追い祭り (伊万里市二里町)
第1日曜日 きやろロードレース大会 (基山町)
第1日曜日 相知ロードレース大会 (相知町)
上旬の日曜日 田代太田古墳の一般公開 (鳥栖市)
7日 佐賀祭 (川副町)
7日 日の原ロードレース大会 (神崎町)
7～8日 鹿島市特産品まつり (鹿島市)
8日 お火たき (鹿島市祐徳神社)
第2日曜日 ふ・れ・あ・いフェスタ (基山町)
2番ひつじの日前夜 お火たき (塩田町八天神社)
20日 山の神祭 (東脊振村永山)
中旬 収穫祭 (川副町農業大学校)
中旬 ぼたんと緑の丘クロスカントリー大会 (肥前町)
中旬 佐賀川上峡ロードレース大会 (大和町)
26日 お火たき (有明町稲佐神社)
29日 青空市 (鳥栖市)
31日 アリ祭 (佐賀市佐嘉神社)
31日 除夜の鐘 (東脊振村修善寺)
31日 夜なべ会 (背振村久保山キャンプ場)
下旬 夫婦岩ライトアップ (山内町)

郷土の歳事記

※行事の日程等は変更があります。

3月 弥生

1日 はがま祭 (鹿島市世間)
7日 ひなまつり茶会 (鎮西町 茶苑 毎月)
7日 ファミリースポーツフェスティバル (東脊振村)
7日 しおた「イカダの里」ロードレース大会 (塩田町)
8日 鬼子母神祭 (小城市光勝寺)
初旬 大野原高原野馬 (姫野町)
上旬 春風マナー (中野町)
13日 第8回TAKEO・世界一登窯まつり (武雄市竹古場キルン・森公園・飛龍宮)
15日 おかゆだめし (北茂安町千栗八幡宮)
18日 観光の日 (武雄市)
中旬 佐賀レディースロードレース (佐賀市)
中旬～4月下旬 観桜大会 (小城市)
20～21日 吉野ヶ里菜の花マーチ (神崎町ほか)
21日 和泉式部忌 (有明町福泉神社)
21日 公認歌道の郷ロードレース大会 (白石町)
29日直前の日曜日 登龍崎の獅子舞 (鳥栖市登龍崎)
最終日曜日 とす生まつり (長崎市)
最終日曜日 虹の松原春まつり (唐津市・浜玉町・虹の松原全域)
下旬 全国中学校選抜剣道大会 (神崎町)
下旬 鎮西山さくら祭り (上峰町)
下旬 環境フェスタ (三日月町)
下旬 長崎街道小田宿まつり (江北町)
下旬 桜まつり・観桜ロードレース大会 (福岡市マイランド公園)
下旬 えひめあやめまつり (佐賀市久保泉町)
下旬～4月上旬 旭ヶ丘公園桜まつり (鹿島市)
下旬～4月上旬 いまり春まつり (伊万里市)
下旬～4月上旬 唐津城・鏡山の桜見頃 (唐津市)
時間未定 佐賀市農林水産まつり (佐賀市)
時間未定 北波多ロードレース大会 (北波多村)

4月 卯月

1～5日 伊万里春の祭元市 (伊万里市)
1日～5月5日 御船山祭開花まつり (武雄市御船山祭園)
1日～5月中旬 川上峽堤のぼりの吹き流し (大和町)
第1土曜日 小城市春まつり (小城市)
3～4日 棚田宮みゆき大祭 (神崎町)
第1土・日曜日 武雄温泉春まつり (武雄市)
第1土・日曜日 北茂安町春まつり (北茂安町白石神社周辺)
第1日曜日 さが桜マラソン (佐賀市)
第1日曜日 千原獅子舞 (鳥栖市)
第1日曜日 山内神社春祭 (玄海町)
第1日曜日 黒島山開き (西有田町竜門山の家)
5日 おやまさん祭 (塩田町吉野神社)
初旬 うれしの茶ミット・吉田おやまさん陶器まつり (姫野町)
初旬 桜ロードウォークラリー (姫野町)
10～12日 日傘さん (佐賀市松原神社)
10～20日 お経会 (大和町相知町)
10日～5月3日 しゃくなげ祭り (北方町高野寺)
上旬 大興祭 (佐賀市)
上旬 国際アマチュア陶芸展伊万里 (伊万里市)
上旬 チューリップまつり (久保田町)
上旬 ふみつき大会 (神崎町)
上旬 黒島の里 春のぼりのまつり (山内町)
上旬～5月下旬 観光湖干渉り (川副町・諸富町)
第2日曜日 富士町健康マラソン大会 (富士町)
11～23日 仁比山神社御田祭 (神崎町)
14日 江藤新平銅像まつり (佐賀市)
18日 多久聖廟秋祭 (多久市)
19日 値賀神社春祭 (玄海町)
19日～5月6日 高松寺釈迦堂まつり (佐賀市高松寺)
中旬 菜の花フェスタ (神崎町)
中旬 乙宮村西宮神社春祭 (牛津町)
中旬 シヤクガ祭り (北波多村)
中旬 黒島山開き (山内町)
中旬 山内町産業まつり 鎮守の祭 (山内町)
中旬 新兵器まつり (姫野町上不動)
中旬～5月中旬 ぼたんと芍薬まつり (肥前町)
21日 白木聖廟春祭 (江北町)
25日 流籠神社金尾羅大祭 (玄海町)
最終日曜日 四季の丘フェスタ in きたがた (北方町)
29日 唐津城歴代城主慰霊祭 (唐津市)
29日 唐津神社春季例大祭 (唐津市)
29日 海・浜開き (唐津市)
29日 宿阿浮立 (鳥栖市)
29日～5月5日 第101回有田陶器市 (有田町)
29日～5月9日 第101回九州山内陶磁展 (有田町)
下旬 太陽と緑のふれあい物産まつり (久保田町)
下旬 大車ふうぞう祭り (富士町)
下旬 こいねんげ草祭 (西有田町)
下旬 広川原キャンプ場開き (姫野町)
下旬～5月初旬 大興善寺つつじ見頃 (基山町)
下旬～5月上旬 つつじ祭 (鹿島市祐徳神社)
下旬～5月上旬 ムツゴロウまつり (芦刈町)
下旬～5月上旬 観光いちご祭り・観光湖干渉り (有明町)
下旬～5月上旬 唐津城の藤見頃 (唐津市)

5月 皐月

1日 御田祭 (芦刈町乙宮神社)
1～31日 春まつり (浜玉町調訪神社)
2～4日 春祭神社祭財天まつり (背振村)
4日 陶祖祭 (有田町)
5日 竹の古場つつじ祭り (伊万里市)
初旬 新茶まつり (姫野町)
第2土曜日 ひやあらんさん祭り (大和町川上峽)
上旬 唐津焼展 (唐津市)
上旬 アルビノ春まつり (唐津市)
上旬 千瀬探検隊ガクテンチャーター (川副町)
上旬 兵衛まつり (東脊振村)
上旬 新茶まつり・唐津城祭元まつり (北波多村)
上旬 献茶祭 (姫野町)
上旬 志田焼の里博物館 こども体験フェアー (塩田町)
上旬～下旬 佐賀県一の大シャクナゲ見頃 (背振村浄徳寺)
上旬～8月 観光遊覧船・船上グルメ (諸富町)

5月 皐月

上旬～10月下旬 奥平谷キャンプ場開村 (鹿島市)
中旬 背振千羽姫茶まつり (東脊振村)
中旬 筑の里大茶会 (小城市)
中旬～6月 鹿島ガタリンピック (鹿島市)
中旬～6月 エッソ強 (諸富町)
中旬～6月上旬 ラベンダーフェアー (西有田町チャイナ・オン・ザ・パーク)
第4日曜日 花の日 (鳥栖市)
30日 佐賀セラミックロード車いすマラソン大会 (西有田町)
下旬 祐徳本因坊戦 (鹿島市祐徳神社)
下旬 ニジマス釣大会 (七山村観音の滝)
下旬～6月上旬 そうめん祭り (神崎町)
下旬～6月上旬 はたる見頃 (小城市)
下旬～6月上旬 はたる見頃 (鹿島市奥山)
下旬～6月上旬 花しよぶ見頃 (大和中央公園苗圃園)
下旬または6月上旬日曜日 うめーランド (武雄市御船ヶ丘梅林・はたるまつり (武雄市保養村))

6月 水無月

1～30日 見帰りの滝あじさいまつり (相知町)
旧4月15日～7月15日 水雲出水法要 (白石町安福寺)
5・6日 呼子大綱引き (呼子町)
5日 こども綱引き (呼子町)
6日 おとな綱引き (呼子町)
上旬 鳴神の庄徳謝祭 (七山村)
中旬 船釣り大会 (鎮西町)
中旬 虹の松原トリアスロンin唐津 (唐津市)
中旬 虹の松原ファミリーマラソン大会 (唐津市)
中旬 石山さまと綱引き・マラソン相撲 (相知町)
中旬～7月上旬 大聖寺あじさい祭 (江北町)
中旬～8月上旬の土曜日 銀天夜市 (佐賀市)
27日 全国国産物産大会 (西有田町)
下旬 呼子町文化連盟まつり (呼子町)
1日 作山山開き (厳木町)
1日 アヌ解祭 (厳木町)
10日～10月9日 眉山キャンプ場開き (武雄市)
初旬 海開き
上旬 イマリビーチ海開き (伊万里市)
13日 八坂神社夏祭 (江北町)
13～15日 紙風船 (鹿島市松原神社)
14日 納涼花火大会 (鹿島市江口河川)
15日 旗あげ神事 (中野町後部神社)
15日 大川内山キャンプ場開き (伊万里市)
第3土・日曜日 きのくに祭り (基山町)
第3土～8月第1土曜日 土曜風鈴夜市 (姫野町)
第3日曜日 塩田川手づくりイカダ大会 (塩田町)
19日 値賀神社輪くぐり (玄海町)
海の日 唐津市民文化大会 (唐津市西の浜)
海の日 海のカニバル in からつ (唐津市)
中旬 先人陶工感謝祭有田夏祭り (有田地区歴史と文化の森公園)
中旬 湯ノ山キャンプ場開き (多久市)
中旬 呼子町イカまつり (呼子町)
中旬～8月上旬 からつ土曜夜市 (唐津市)
土用の丑の日 湯みそ (小城市清水宝地院)
夏休みに入って最初の土・日曜日 鳥栖山笠 (鳥栖市本町八坂神社)
浜崎祇園祭 (浜玉町調訪神社)

7月 文月

第4土・日曜日 山根祇園 (小城市須賀神社)
25日 きゅうらぎ川あゆまつり (厳木町)
最終日曜日 まつり鳥栖 (鳥栖市)
最終日曜日 唐津湾イカダ大会 (唐津市)
28日 大町の夏祭 (武雄市)
28～30日 祝感謝 (鴨居町須賀神社)
旧6月14～15日 小友友徳祭 (呼子町小友の海を渡る山笠)
旧6月14～15日 小川島祇園祭 (呼子町)
最終土曜日 太良町納涼夏まつり (太良町)
下旬 増田神社夏祭 (肥前町)
下旬 九州花火大会 (唐津市松浦川河口)
下旬 夏の夜のメルヘン (諸富町)
下旬 長崎街道かんざき宿場祭り (神崎町)
下旬 納涼花火大会 (浜玉町)
下旬 ふるさと夏まつり・花火大会 (北波多村)
下旬 いろは島フェスタ・シーカヤック大会 (肥前町)
下旬 玄海町花火大会 (玄海町)
下旬 観・浦の夜祭 (呼子町)
下旬 竹崎かきと温泉まつり (太良町)
下旬 徳祖親祇園祭 (北波多村)
下旬～8月上旬 唐津市ビーチバレー大会 (唐津市)
下旬～8月中旬 灯籠まつり (武雄市)

8月 葉月

1日 祐徳神社夏祭 (鹿島市)
1日 千栗神社名越祭 (北茂安町)
第1日曜日 からつ海上運動会 (唐津市)
第1日曜日 北波多町環境の日 (北波多村)
旧6月19日 沖ノ島まいり (有明町泊岸)
旧6月19日 ムツゴロウ王冠夏まつり (芦刈町)
第1金曜日 花火大会in龍溪 (大和町川上峽)
7日 納涼花火大会 (西有田町)
7～8日 鹿島おどり (鹿島市)
10日 水光呼子港まつり (呼子町)
10日 うれしカーニバル (姫野町)
上旬 堀でちやば (千代田町)
上旬 栄の国まつり (佐賀市)
上旬 どんちゃん祭り (伊万里市)
上旬 納涼夏まつり (東脊振村)
上旬 盆おどり大会 (三日月町)
上旬 崎町マラソン (上峰町)
上旬 おっしよいの里見頃まつり (牛津町)
上旬 ムーンファンタジイン三日月 (三日月町)
上旬 黒島の里 ふれあいまつり (山内町)
11日 姫野温泉夏まつり (姫野町)
13日 盆綱引き (東脊振村下石動)

語ってくれる人が欲しくなります。これを妻に求めても無理なこと。同じ故郷を持つ者同士にしか理解できないことでしょう。ある種の本能的なことかも知れません。こんな時ある方からお誘いを受け佐賀県人会に入会させて頂き昨年の夏の総会に出席することが出来ました。懐かしい佐賀弁を聞くことが出来、嬉しく思いました。

私は仕事の関係でしばらく九州を離れておりました。昭和四十九年に転勤で福岡に赴任致しましたので今年で二十九になります。今では、福岡を永住の地として暮らさねばならぬだろうと考えております。同じ九州でも福岡と佐賀では言葉も生活習慣も微妙に違います。県人会で同じ思いを持つ人に出会い心より安堵致しました。

今までお会いすることもなかった多くの方たちと出会い、仕事を離れて会話を楽しむことが出来、大変感謝しております。

何のお役にも立つことが出来ませんが今後ともよろしくご厚誼頂ければありがた



昨年秋十月初めに約六年ぶりに第二の故郷と申しあげましょうか、ドイツに行つて参りました。ハンブルグについての印象は大変がっかりしました。三十年前は活気があつて勢いがありました。美容室（会話学院等々）にも若者

「ドイツ」

「よもやま話」

（婦）チロリアン

原田利一郎さん

く思います。どうぞ宜しくお願い致します。

など思っています。フランクフルト、デュッセルドルフは非常に活気がありました。若者は沢山おりましたし、ロカール（レストラン）もいっぱいでした。ドイツは、一九九一年にベルリンの壁が崩壊し東西ドイツが統一されましたが、まだその後遺症があると思われました。もちろん旧東



がたぐさんいたのに、今ではすっかり変わってしまいました……。デパートも閑散として、消費する経済力が弱まったという感じ、果たしてその方々はどこへ……となる訳ですが、自分の印象で申しあげますと、ベルリンや南ドイツ等へ散らばつていかれたのか

ドイツに行つてみないと分かりませんが、そうだ……十年前に目立ったモヒカン族ヒトラー党連中も今や物乞い、乞食に成り果ててしまつて可哀想な気がしました。今のドイツを象徴しているような気がしました。

事務局だより

福岡市佐賀県人会の事務局として、平成二年七月より平成十五年十二月まで十三年の長きにわたってお世話いただきました落合良太さんがこの度、勇退なさいました。本当にお世話になりました。ありがとうございます。尚後任には永田健生さんが担当下さいます。どうぞよろしく願ひいたします。



みんなの願いをかなえたクルマ

WISH COMES TRUE

WISH
ウィッシュ



ネットトヨタ福岡株式会社
本社/福岡市博多区博多駅前6-14-35 ☎092-411-5511

このごろ 私は

「福岡との懸け橋に…」

福岡県議会議員
大原弥寿男さん



昨年の地方統一選挙に於きまして、福岡市早良区より県議会議員に初めて当選させて頂きました。当選の蔭には、佐賀県人会のご支援は素より、県境を越えて頻繁に選挙事務所まで足を運んで応援していただいた佐賀県の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

私が県人会に入会させて頂いたきっかけは、従兄弟たちが佐賀に居住していることが縁になった訳ですが、私が生



株式会社 佐賀広告センター
福岡支社 支社長
下川 勝廣さん

ふるさと佐賀へ
情報発信

まれ育った早良区の曲淵は佐賀県と福岡市とを結ぶ国道263号線沿いに位置しています。古くから三瀬峠を挟んで多くの人や物の往来が盛んに行われ、私の家も代々佐賀県とは身近な関係にあり、会員の皆さんと交流が出来ることを楽しみにしています。

私が議員になって感じたことですが、佐賀と福岡の人や物の交流は年々増えているにも拘らず議員や行政の交流が少な過ぎるのではないかと思います。私はこれから県境を越えた議員の交流を頻繁に行い、両県の長所を伸ばし合えるようなよりよい関係作りをしていきたいと思っています。

福岡に配属されて早くも10カ月になろうとしています。福岡は大学卒業以来27年ぶりですが、私の学生時代とは比較にならない大都会と化しており、その変貌振りに驚いています。佐賀との一番の違いは街の活気でしょう。人口は佐賀の6倍弱ですが、活気は6倍どころか10倍位？ありそうな気がします。私は佐賀市内から通勤していますが、博多駅や天神に着くとその活気に刺激されて元気が出てきます。何とかしてこの活気を佐賀に持ち帰る方法はないものかと考えているのですが……。もともと弊社が福岡に支社を開設したのは、福岡地区での営業もさることながら福岡で得た情報を佐賀に発信するという目的もあつたことです。まだまだ目的達成には程遠いのですが、福岡の活気に刺激されながら1日も早く最新の情報をドンドン発信できるようなになりたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願ひします。



酒人の独り言

（鳥栖市）

古賀 哲夫さん



暦の上では大寒も過ぎ1月も終わろうとしています。私も生を受けて今年59年目に入りましたが、五十歳半ばまでは酒飲んでも翌日の仕事のことなど考えずに暴飲暴食で通してきまして、最近では若人と酒飲を共にした後の二日酔い・三日酔いと年齢を痛感する（会社に多大なる迷惑をかけてます）今日です。もし私と同じお悩みの方がおられましたら、おたがい年齢にあつた酒量で健康管理をし「県人会」に1回でも多く元気で出席できるように頑張ります。

平成十六年一月吉日

「佐賀県人会に入会して」

社会福祉法人
和光保育園

高木 靖哉さん



還暦を迎えようという年になって、最近妙に故郷が恋しくなることが多くなって参りました。

小城公園の桜、祇園川の蜆、天山の山並み・田圃や畑の風景が目につくか子ども頃の頃泥まみれになって遊んでいたことが懐かしく思い出されます。私も随分年をとつて来たなあと思うことが多くなって参りました。

若い頃は、佐賀のことや小城のことなど懐かしむこともなく、唯がむしやに生きてきました。人間誰しもいつかは、年を取ります。そんな時一緒に故郷のことを懐かしく

◇お年寄りと絹糸紡ぐ◇



大正時代から戦前にかけて地域の主要産業だった養蚕を、神埼町の西郷小の子どもたちが復活させ、十二月十二日、近くのお年寄りを招いて絹糸を紡ぎ出した。校内で眠っていた昔の糸車に巻き上げ、子どもたちは独特の光沢に「つるつるしている」と驚いていた。

養蚕は六年生の総合学習の一環。二組の二十四人が一学期からカイコの飼育を始め、百〜二百匹ずつを自宅で育ててきた。子どもたちは大鍋で繭（まゆ）を煮立てた後、お年寄りの指導を受けながら丁寧に糸を引き出し、糸車やボール紙に巻き付けた。また、繭の一部はゆでずに、花や馬に見立てた小物に仕立てた。

初めて体験した幸田寛君（一二）は「成長して繭を結んだのがうれしかったし、カイコの命が新しく活かされていくのは驚きです」と感激した様子。指導に当たった馬原俊浩教諭は「生きものだから、子どもたちの真剣さが違った」と話していた。

◇花器に磁器製ブーツはいかが？◇

ハイヒールやブーツの焼き物に花を生けませんか。有田町応法の陶磁器製造、伯父山窯（岩永寿久社長）が磁器製ブーツの花器などアイデア商品を開発し、新春展で披露した。珍しいさが受けて、商社などから評判を呼んだ。

この商品は岩永社長が型を考案。長女的美保さん（二五）が手描きで絵付けのデザインをした。美保さんは武蔵野美術大を卒業、二年前から独自のデザインを追求している。



◇肥前国庁の鬼瓦、合成樹脂で復元◇



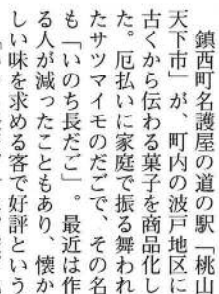
◎大和町教育委員会は、同町久池井の国指定史跡「肥前国庁跡」の国庁南門にあった鬼瓦を合成樹脂で復元した。福岡県・大宰府の影響が強く、奈良時代の瓦と違い、肥前国の独自色が出始めた平安時代前期の瓦。国庁が最盛期を迎える前のもので、瓦が復元されるのは初めて。

鬼瓦は九世紀半ばに、南門屋根の棟の両端に二枚取り付けられていたとみられる。国などが進める歴史公園事業で南門が復元されるため、完成後の屋根に設置しようとして取り組んだ。

復元した鬼瓦は、縦約四十七センチ、幅約三十五センチ、厚さ約三・四センチ。大きく飛び出した目と下から伸びた牙（きば）が特徴。国庁跡や、町内の国分寺小川遺跡で出土した鬼瓦の破片を基に、復元の図面を作成。粘土で原型をつくり、石こうで型取りし、合成樹脂を流し込み仕上げた。

今後は瓦の材質で復元し、南門に取り付ける予定。

◇サツマイモだごを商品化◇



鎮西町名護屋の道の駅「桃山天下市」が、町内の波戸地区に古くから伝わる菓子の商品化した。厄払いに家庭で振る舞われたサツマイモのだごで、その名も「いのち長だご」。最近では作る人が減ったこともあり、懐かしい味を求める客で好評という。

「いのち長だご」は、波戸地区一帯だけに伝わる菓子。名護屋城築城の際、薩摩の島津氏がサツマイモを持ち込んだとの説があり、桃山時代が起源とされる。



生地は蒸したイモと米粉・小麦粉を七対三の割合でこね合わせ、お湯に通したもので、口に入れるとほのかな甘みが広がる。本来はこってりとしたしあんを使うが、現代人の食味に合わせて甘みを抑えた粒あんや、イモの味を生かした。

賀茂丸満・町観光協会事務局長は「栄養たっぷり健康おやつとしてもお薦め」とPR。二個人入り二百円で、同市で販売している。

◇日曜「鮎市」に1万人◇



◎三百年以上続く「鮎（ふな）市」が一月十八日、古い町並みに残る鹿島市浜町の酒蔵通りであつた。夜明け前から鮎業者の呼び込み声や響き、郷土料理「ふなこぐい」の材料を買い求める人たちがぎわった。例年十九日に開催しているが、今年は日曜日に合わせて開催。県内外から約一万人が訪れた。

昔、一月二十日の「二十日えびす」に商家や醸造元などが、奉公人らの労をねぎらうために「ごちそう」を振る舞う習わしがあった。有明海では鯛（たい）があまり取れず高価なもので、鮎を鯛料理の代わりに使った。

福岡県や県内の大業者が、クリクなどで取った生きたいいまづな、ヘラブナを一キロ五百〜七百元で販売。客は水槽を眺めて品定めし、平均二、三キロを買い求めていた。

十キロ以上を購入した久留米市の本木博志さん（五二）は「父が鮎が好物で毎年来ている。新鮮なうちに仕込みます」と白い息を吐きながら語った。

◇トロッコ列車大人気◇

◎かつて石炭輸送を担った唐津線が、全線開通して百周年を迎え、十二月十四日、唐津市のJR唐津駅などで記念イベントがあった。式典やトロッコ列車の運行など多彩な催事で、大勢の人たちが同線に親しんだ。

唐津線は一九〇三年、唐津の石炭積み出し港と産炭地を結ぶ鉄道として、妙見（現西唐津）―久保田が開通した。



式典では、同線電化促進期成会会長の古川康知事が「百年の歴史に思いを寄せ、愛される線であるよう期待し、支援をお願いしたい」とあいさつ。続いて、唐津市の清田市長が「百年の歴史に思いを寄せ、愛される線であるよう期待し、支援をお願いしたい」とあいさつ。続いて、唐津市の清田市長が「百年の歴史に思いを寄せ、愛される線であるよう期待し、支援をお願いしたい」とあいさつ。

◇小城町立図書館、貸出100万冊を突破◇



小城町立図書館は、七カ月で百万冊を突破した。職員による「おはなし会」や展示の工夫が利用者に好評で、年を追うごとに貸出冊数が増えている。

同図書館は一九九九年四月、複合施設「桜城館」内にオープン。落ち着いた雰囲気、くつろぎながら本に親しめる空間が整っている。蔵書数は開館当時の四万五千冊から九万二千冊に増え、種類もバラエティーに富む。

初年度の貸し出しは、約十九万九千冊。毎年五千〜八千冊ずつ伸び、〇二年度は二十一万九千二百八十九冊を貸し出した。最近では総合学習での調査に利用する小学生が目立っているという。

水田館長は「これからも利用者のニーズに沿ったサービスを提供し、地域に愛される図書館を目指したい」と話している。

◇有明産ノリ入りうどんを開発◇

◎福岡、佐賀で県特産品を販売するヨシモト（大和町、吉本郁雄社長）と製めん所のまるひ食品（東谷振村、東島宏昭社長）が、ノリを練り込んだ「海苔（のり）うどん佐賀の糸（いと）」を開発した。

海苔うどんは、粉末状にした有明海産の高級アマノリを小麦粉と練り込んだ。商品百グラムにノリ一枚分を使い、ノリのほのかな香り、豊富なビタミンなどが持ち味という。製法は特許出願中。

吉本社長がノリで新名物を作ろうと構想。知人から東島社長を紹介されて商品化した。昨年九月の試食会では子どもから若い女性まで「のどごしが良く、腹にもたれない」と評判だった。

吉本社長は「県産のノリとめんの世界に誇れるブランド。世代に関係なくおいしく食べられる健康食にしたい」と話す。

三百グラム入り三百八十円。JR佐賀駅や博多駅、ジャスコ佐賀大和店で販売している。

◇村井国夫さんがチャリティーコンサート◇



亡き兄の遺志を継ぎ、カンボジアの教育復興を支援しようとする佐賀市出身の俳優村井国夫さんが、十二月十七日夜、佐賀市文化会館でチャリティーコンサートを開いた。ミュージカル曲などを美しい低音で熱唱。約二百人の聴衆を魅了した。

村井さんの兄孝至さんは一九七〇年代、共同通信社記者でカンボジア内戦などを取材。帰国後、当時のカンボジア人助手の教育復興活動に共感。現地に学校建設の募金を呼び掛ける運動を日本で始め、「カンボジア日本友好学園」設立などにかかわったが、二〇〇〇年五月に亡くなった。

コンサートは三部構成で、第一部はミュージカルの楽曲が中心。「アイ・ドゥ・アイ・ドゥ」を長女まゆみさんとのデュエットで披露した。

今回の収益は「村井孝至奨学基金」として、同学園卒業生の進学資金に活用される。

◇幻想的、吉野ケ里炎まつり◇

古代から人とかかわりが深い火をテーマとする「吉野ケ里炎（ひ）まつり」が十一月二十三日、神埼郡三田川町のJR吉野ケ里公園駅北口であった。夕闇の中、種火から一つずつかがり火がともされ、会場は幻想的な雰囲気になった。

夕刻、日吉神社で採火された種火は、三百五十本のたいまつ行列とともにメイン会場へ。音楽やレーザー光線による演出の中、八谷阿紗美さん（二〇）ふんする早稲が大小のかがり火に点火した。

ステージでは韓国の伝統芸能や総踊りが舞われ、高さ二十五メートルの巨大火柱が祭りのフイタレを飾った。事務局によると、この日一日で約一万二千人が訪れた。



この欄の記事・写真は佐賀新聞社の提供です。

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	郵便番号	住 所 (自宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
朝 永 正 道				(医) 親愛理事長	嬉野町
青 柳 克 彦				青柳鉄工建設(株)代表取締役	唐津市
園 田 正 代				スナック つる	鎮西町
峰 松 千 恵				(株) 佐賀銀行	鹿島市
高 木 靖 哉				和光保育園理事長園長	小城町
大 麻 三 夫				(株) ポーサイ福岡代表取締役	佐賀市
齋 藤 マサ子				結婚相談所博多駅中央センター	久保田町
谷 口 正 憲				谷口建設(株)福岡支店支店長	川副町
福 田 全 弘				福岡県中央信用組合本店営業部	佐賀市
松 尾 保 男				元 西日本鉄道	佐賀市



皆さんは、「カセドリ」という言葉をご存知ですか。これは佐賀市蓮池町見島地区に古くから伝わる小正月(旧暦1月14日)の民俗行事のことで、現在では毎年2月の第2土曜日の夕刻から行われています。

行事の主役は、編笠と藁蓑を身につけ、下半分を細かく割り裂いた長さ2メートル程度の青竹を持った「カセドリ(加勢鳥)」と呼ばれる地区の青年2名です。雄雌の役割を持った彼らが、見島地区にある熊野神社の鳥居をくぐり、拝殿に駆け込むところから行事は始まります。拝殿では、両膝を付き、体前にかがめて、青竹を床面に小刻みに激しく

見島のカセドリ

打ち鳴らしながら、盃に注がれた酒をそのままの姿勢で飲み干すという所作を繰り返します。この「ガチャ、ガチャ」と鳴る青竹の音が悪霊を祓うと信じられています。

神社での行事が終わると、カセドリ2名に加え提灯や籠を持った十数人の一行が、地区の家々(氏子)を廻ります。神社での所作と同じように、カセドリは家々に飛び込んで竹を激しく打ち鳴らし、悪霊を祓って一年の家内安全や五穀豊稔を祈願するのです。このようにして行事は深夜まで行われます。

この行事の由来については記録がないためはつきりしませんが、寛永年間(1624-1644)頃から始まり今日まで続いていると地元では言われています。

季節の折り目に神に扮した者が家々を訪問する行事は日本各地にあります。見島のカセドリの悪霊を祓う所作は全国的にも例がない珍しいものであり、神人訪問の伝統行事としても地域色豊かであるとの高い評価を受けて、平成15年2月に国の重要無形民俗文化財に指定されました。是非、一度ご覧になってはいかがでしょうか。

編集デスク

平成十六年新春号をおとどけいたします。

「新春懇親会」も盛況の中に終了いたしました。空くじなしの福引大会も楽しさ一杯の盛り上りでした。水間理事のご協力により、その楽しさを再現いただきました。じっくり味わって下さい。そして次の県人会総会と合せて十七年の懇親会にはぜひお誘い合せの上、ご参加いただきます様お願い申し上げます。

「佐賀県だより」の記事・写真については、毎号佐賀新聞社から提供、ご協力いただいております。ふるさとニュースのダイジェスト版として好評いただいております。ありがとうございます。

(一)

会報むつごろ

平成16年2月25日発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商业石油株式会社
☎092-714-3111
制作 有限会社タナカ
☎0955-23-5214